

明けましておめでとうございます。

新春の挨拶

社会福祉法人報徳会理事長 内田 善久



社会福祉法人報徳会
広報紙（季刊）
令和7年正月号
発行責任者
理事長 内田善久



新年明けましておめでとうございます。

日頃より社会福祉法人報徳会「はなさか」の事業運営にご理解とご協力を賜りまして有難うございます。心より感謝申し上げます。

さて昨年は、社会経済環境に於いて、継続的周期で訪れる感染症蔓延問題、全般に及ぶ値上げや人材不足や葉不足等の問題、地球環境に於いては気温の急激な上昇やゲリラ豪雨など様々な問題が浮上しましたが、皆様のご協力により何とか乗り越える事が出来ました。しかしこれら問題はマニュアルなど通用せず、全てが応用問題かの如く、まるで我々をあざ笑うかの様に形を変えて襲い掛かって来ては、その都度良く考え分析的確な対応が求められました。その様な困難な状況の中、ご入所されている「鏡も、よ」さんが一〇九歳で相模原市最高齢者となった事は本当に喜ばしい出来事でした。

またここ数年の成果としては、【感染症対策】コロナ発生数の少なさ、【緊急時対応】緊急時の受け入れスピード、【安全な水の確保】ゼロP・FOS・ゼロP・FASの専用水道の確保、【防災対策】それらの水や特殊車両を使った災害時対応、など相模原市は基より周辺行政からも一定の評価を頂いており今後より一層の強化の予定です。

今年のテーマは、最高齢一〇〇歳対応、有病者対応、感染対応、虐待事例、緊急対応、後見人事例検討、自主防災力向上、等、困難事例への対応スキルを向上させ、スピーディに命を守り、人権擁護環境向上に努めて参りたいと考えます。

そして新たなニーズ【行政や家族会】に出来るべく、障がい者事業・児童養護および子育て支援事業を進行予定であります。現代は社会に生かされている時代であります。一方で法の庇護から抜け落ちた救われない方々が一定数おられます。それら状況下への的確でスピード感のある事業展開を検討中です。引き続き皆様のご理解とご協力をお願いする次第です。どうぞ本年も宜しくお願い申し上げます。

はなさか連載コラム ㉔

万有引力とはひき合う孤独の力である 『二十億光年の孤独』

社会福祉法人報徳会理事 岩壁 清吉



《くるあさごに くるくるしごと
くるまはぐるま くるわぐるえ》

（岸田 裕子「くるあさごに」詩集『あかるい日の歌』）

「仕事」に追われ、放り出してしまいたい時があった。なかなかできなかった。岸田 裕子は、「狂わば狂え」を地で行く融通無碍な詩人だと茨木のり子は言う。羨望。その人と引き合い連れ合った人。

昨年11月『二十億光年の孤独』からやって来た谷川俊太郎が『空をこえてラララ星のあなた』、宇宙に帰還した。『うそつき きつつきき はつつかない うそをつきつき つきつき』を孫子にも伝えたい。

《人間そのものの弱さ、優しさ、もろさ、強がり、ほんとうの強さ、欲望、エロさ、俗悪、潔癖、清廉、仁王立ち、若葉、かおり、木々、時を重ねること、時を過ごすこと、そうして変化すること、変化しないこと、いのちがあるということ、そういったものに対してじわりと響く鈍痛のような文字もあれば、ちくりと突き刺してどこかへいつてしまいう気付きづらい苦しみもすっかりと文字にのせて、詩とされたそれは風に吹かれてやってきたみたいになつて私たちに襲い、誘うてくる。》（ヒコロヒー「話題の本」毎日新聞24・11・30）

『さよならは仮のことは 谷川俊太郎詩集』を、芸人ヒコロヒーは『重くたくましく、けれども痛快に紡ぐ死生観の表現』と喝破した。的確無比なこの批評文が、至高の追悼となつて私たちを襲い、誘う。付会を一つ。繰り出す（ことば）を食す猥として見た、次の一節。

《時には思い出ゆきの 旅行案内書『ワグネル』にまかせ

「あの頃」という名の駅で下りて 「普通通り」を歩く

いつもの喫茶店『三』には まだ時の名残が少し

地下鉄『ト』の駅の前には 「62番」のバス

鈴懸『ラ』並木の古い広場と学生だらけの街

そういえばあなたの服の模様さえ覚えてる（さだまさし『美空』）

《思い出の中で あなたは 支えてください 私の人生の中では私が主人公だと》。―その人が読んでいる詩集『六十二のソネット』。

《万有引力とはひき合う孤独の力である》も、道連れにして。



今年も「はなさか神宮初詣」を1階のデイサービスのスペースを使って開催しました。お参りのあとに、大吉のおみくじを引いて、幸先の良いお正月を過ごされていました。

はなさか神宮初詣

祝ご長寿



原 利男様 101歳

いつも朗らかで楽しい原利男様は1月1日生まれ。今年101歳となりました。今日もお元気です！

新磯ざる菊まつり



恒例の「新磯ざる菊まつり」が施設の前の会場で開催されました。今年は「共生」の2文字が赤い菊で浮かび上がりました。

**2025年
カレンダー**



本年のカレンダーをホームページからダウンロードできます。

<http://www.houtokukai.sakura.ne.jp/>

デイサービス

田名中学校から職場体験



市立田名中学校から二人の生徒が、デイサービスの職場体験に来てくれました。左の男子生徒は10年前にさくら保育室を卒業した勇人くんです。成長がうれしい再会でした。

スタッフ紹介



金井調理師です。毎日厨房でみなさんのお食事に腕を振っています。

**秋の味わい祭典
芋煮会2024**



はなさか農園で収穫した里芋を使って、恒例の「芋煮会」を開催しました。百人前の大きな鉄鍋からアツアツの芋煮をみんなで分けて食べた。心も体もホッカホッカ。災害時の炊き出しのために、新たに用意した装備の点検もできました。



**はなさか農園
2025**

栽培できる野菜が少ない季節ですが、春菊、玉葱、大根を栽培しています。もう少ししたら新鮮な春菊を皆さんの食卓へ提供します。